株式会社アジクル / AJI-CLE Co., Ltd.
info@aji-cle.co.jp
https://www.aji-cle-oss.jp
https://www.aji-cle.co.jp

2025 年 4 月 2 日

株式会社両備システムズとのバングラデシュにおける農業データプラットフォームによる農業 DX 及びカーボンクレジット創出に向けた実証事業の協業について

株式会社アジクル（以下「当社」）は、包括業務提携先である現地財閥 UGI Group、マイクロファイナンス機関 NTAR Society for Development（以下、ANTAR）とともに、株式会社両備システムズ様（以下、両備システムズ社）によるバングラデシュにおける農業データプラットフォームによる農業 DX 及びカーボンクレジット創出に向けた実証事業について協業を開始したことをお知らせいたします。

株式会社両備システムズ（https://www.ryobi.co.jp/）（外部リンク）

弊社は、これまで、経済産業省による新興国 DX 等新規事業創造推進支援事業などの協力を得て、マイクロファイナンス機関との連携による農業を通じたカーボンニュートラル事業、データマネジメント事業に取り組んできました。
2024 年 7 月のダッカ大学・先端科学研究センター（CARS, Dhaka University）との技術提携、先般 2025 年 3 月のバングラデシュ稲研究所（BRRI）との技術提携に加えて、弊社パートナーであるマイクロファイナンス機関 ANTAR による稲作農家とのネットワーク、UGI グループ傘下 IT 会社の開発力を総合し、当該事業のリソースパートナーとして参画いたしました。

なお、本件は、経済産業省のグローバルサウス未来志向型共創等事業に採択されており、日本政府とも連携しながら進めてまいります。
令和 5 年度補正「グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金」（https://gs-hojo-web.jp）（外部リンク）

基軸となる稲作農法・AWD（間断潅水：Alternate Wetting & Drying）農法は、①稲作における省水による水資源保全、②収穫量増加、③メタンガス発生抑制によるカーボン輩出削減、など複数の効果を有しています。
バングラデシュの稲作環境において、AWD 農法のメリット最大化を目指すとともに、稲作農家を巡る諸々の課題に対して、デジタル／アナログの両面から、更に科学的見地／ビジネス的見地／社会開発的見地から、取り組んでまいります。

本事業を通じて両備システムズ社による協業の更なる展開を目指すとともに、日本・バングラデシュ間の産官学連携による研究開発、事業開発を通じた社会課題解決を推進いたします。

引き続き、弊社は、パートナーである UGI Group、ANTAR との包括提携の下で進めて参ります。

以上

株式会社アジクル / AJI-CLE Co., Ltd.

info@aji-cle.co.jp

https://www.aji-cle-oss.jp

https://www.aji-cle.co.jp

（↑実証実験地域（クミラ県）における苗植え（12 月）の様子）

（↑バングラデシュ稲研究所（BRRI）訪問の様子）

（↑農家向け AWD 農法説明会の様子）